

賢島 宝生苑

Kashikojima Houjouen
(三重県志摩市)



2016年に開催された伊勢志摩サミットの映像を見て、このような美しい風景があるものかと思っていたところ、賢島のホテルを取材する機会に恵まれた。

今回紹介するのは賢島の高台の眺望が良いところにある豪華ホテル・宝生苑の風呂だ。宝生苑のフロントは3階にあり、フロントの奥には滝を有する壮大な室内庭園が広がっている。

男風呂「朝なぎの湯」は2階、女風呂「夕なぎの湯」は3階にある。バスタオルは脱衣室入口に積み上げられているので、客室からはハンドタオルだけ持っていこう。脱衣室にはロッカー（コイン不要）が153個、洗面台が10個ある。ホテルの大浴場にふさわしいスケールである。洗面台には固形石鹸、ハンドソープ、ローション、トニック、リキッド等のアメニティーが揃っている。足ツボマッサージ器も2個ある。

洗い場は合計で28か所。シャンプー、コンディショナー、ボディーソープは具備されている。これらは「馬油+炭」と書かれ、いいにおいがする。贅沢に使う。

浴槽は巨大。低温と書かれたぬるい浴槽は定員20人ほど、高温と書かれた適温の浴槽は定員10人ほどだ。全然高温ではないので、安心して入ることができる。他に、檜風呂があり、定員は4人ほどだ。

サウナは定員15人ほどで、室内温度86℃。水風呂はサウナの入口近くにあり、定員2人ほど。なぜかサウナを利用している人はほとんどいない。

露天風呂はぬるめで定員15人くらい。この温泉の共通点は、浸かると肌がぬるぬるしてくることである。ホテル側も「美肌効果」を唄っている。

以上の他に、少し離れた場所に庭園風呂がある。ホテル側によれば、庭園風呂は脱衣室から50m離れているので、服を着たうえで行き来することと書いてあるが、ほとんどの客が裸のまま行き来している。庭園風呂にも脱衣室はある。脱いだ物を入れる棚が36個あり、籠は18個ある。庭園風呂は露天風呂があるだけで、洗い場はない。浴槽が3つあり、そのうち一つは寝風呂（5人分）である。いずれもぬるめの

湯温だ。大浴場にある露天風呂も、庭園風呂も眺望がよく、賢島の絶景を鑑賞することができる。

2年以上続くコロナ禍の中、久しぶりに非常事態宣言やいわゆる蔓延防止等の規制なく、旅行を楽しめた。やっぱり温泉はいい。



DATA

名称	賢島 宝生苑
所在地	三重県志摩市阿児町神明 718 番地の 3
電話	0599-43-3111
営業時間	宿泊客は 5 : 00 ~ 9 : 30、12 : 00 ~ 24 : 00、日帰り入浴は 12 : 00 ~ 17 : 00
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料、日帰り入浴 1,250 円（日帰り入浴は食事をするのが条件）
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	なし
泉質	ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）
効能	筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、ねん挫などの慢性期）、 運動麻痺による筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、 胃腸機能の低下（胃がもたれる、胃にガスがたまるなど）、 軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、 軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、 ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、 きりきず、皮膚乾燥症
取材日	2022 年 5 月 6 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし